

平和・共生

Log Book

70 期

HR No

HR No

HR No 氏名

過去から現在、そして未来へ

現在
を知る

英語
現代社会
物理基礎
生物基礎
修学旅行

現代史（日本史A）
修学旅行

過去
を見つめる



未来

を描く

聖書
礼拝
研究論文

「平和を実現する人々は幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」
(マタイによる福音書 5 章 9 節)

青山学院高等部の平和・共生学習



20世紀、人類はこれまで経験したことのない大規模な戦争を経験しました。世界中のいたるところで悲劇がおこり、日本は世界で唯一の被爆国となりました。戦争の様々な局面において、論理的な“正しさ”が語られますが、戦争は人類の起こしうる方法の中で最も大きな他者への侵害であり、どのような理由のもとにおいても正当化されるもので

はありません。

そして、「戦争が起こった」という言い方がありますが、戦争は自然に「起こる」ものではなく、人類の意思と行動の集積として「起こした」ものです。やみくもに平和を賛美するのではなく、人類は自らの手で大きな悲劇を起こす、という前提に立って、なぜ戦争は起こり、現場では何が起きていたのかを理解する必要があります。当時の為政者はどのような状況で、何を決断し、何をもちらしたのか。そして、その現場を生きた人々はどのような状況で、何を思ったのか。この100年の間に起きた様々な出来事を、記録や語り継がれる物語から、そして歴史的な構造から学ぶことで、戦争という人類の悲劇がどのような姿のものであったのかを考えます。



第二次世界大戦後、日本は敗戦国として焼け野原の中を再出発しました。長崎県や広島県の人々は、健康被害や差別など多くの苦しみの中から、時間をかけ、ゆっくりと立ち上がりました。そして、日本は憲法9条に代表される平和憲法のもと新しい国づくりを進めますが、その一方で原子力の研究は進み、日本は新しいテクノロジーを活用して経

済大国となりました。

日本は経済的に再生を遂げますが、その圧倒的な経済力は新たな暴力となって、他国を経済的に従属させる構造が生まれました。世界中の貧困に起因する様々な問題と日本の経済は決して無関係ではありません。修学旅行を出発点に、原子力エネルギーの仕組みや、被爆した人々のその後、そして憲法に記される日本の目指す方向性と、現代社会が抱える様々な「力」が生み出す矛盾。これらのさまざまな「今」に注目し、私たちの暮らしとこれからについて考えます。



未来とは、向こうから勝手に訪れるものではなく、想像力、そして創造力によって生み出していくものです。

他者を受け入れ、共に生きるということは、決して易しいことではなく、そこには膨大で、複雑で、投げ出したくなるような問題ばかりがあります。その山積みの問題を前

に、自分の力では何も解決できない、という一人の力の弱さを思い知りますが、その「できない」ことを知ることが、「まず何ならできるか」を考え始めるための準備になります。

過去から現在まで、私たちが歩んできた道のりの先には、どのような未来が広がっているのでしょうか。私たちが描く未来のジグソーパズルには、あとどのような形のピースが必要でしょうか。新しい知識との出会い、新しい人との出会いによってパズルを組み立てていくために、まず礼拝や聖書の時間などを通じて自分自身を見つめなおす機会を持ちましょう。そして、それを設計図とし、過去から現在へつながる道の先に、未来への一歩目となる「研究」を踏み出します。

「礼拝を通して考えた自分の生き方」について600字～800字でまとめる。

今年度高等部で受けた礼拝を通して考える。聖書を引用する場合は、**聖書箇所(例 ヨハネ3:16)のみ**本文に書き、引用文は次頁下の余白に書く。

[illegible]

1 年聖書

杉原千畝から見る

平和・共生



1. 杉原千畝さんとは

1900 年 1 月 1 日、岐阜県加茂郡八百津町に生まれる。

1918 年 4 月に早稲田大学高等師範部英語科の予科に入学。

1919 年 10 月に日露協会学校（後のハルビン学院）に入学。

11 月には外務省の官費留学生として中華民国のハルビンに派遣。

1932 年に満洲国外交部事務官

在満の時期に、千畝は正教会の洗礼を受けた。

聖名（洗礼名）は「パヴロフ・セルゲイヴィッチ」

2. 杉浦千畝の信仰

「私に頼ってくる人々を見捨てるわけにはいかない。でなければ私は神に背く」

→ 難民たちを「見捨て」ることが「神に背く」

＝ 「正義と恵みの業を行い、搾取されている者を虐げる者の手から救え。寄留の外国人、孤児、寡婦を苦しめ、虐げてはならない。またこの地で、無実の人の血を流してはならない」（エレミア書 22 章 3 節）という神からの命令に違反することになるということである。（『六千人の命のビザ』）

「"Vaya con Dios!"」

＝スペイン語で「さよなら」の意味。直訳すると「神と共に行け！」

ソリー・ガノールが杉原より聞いた言葉

"Vaya con Dios. Go with God. I don't know why he said in Spanish, but the words were from the heart, and to this day those three words invoke deep feeling in me."

（「ヴァジャ・コン・ディオス」。神と共に行け。彼がどうしてスペイン語で述べたのか、私にはわからなかった。しかし、今日に至るまでこの心のこもった三語が私に深い感情を呼び起こすのである）

3. 以下のことについて考えてみよう。

① 杉原さんの行動から考えた、平和を作ること、共生を実現することのために必要だと考えたことを書いてください。

② 杉原さんの行動から学び、今の私たちにできることは何か考えてみよう。

③ 杉原さんの行動を支えていたものがキリストへの信仰だとするならば、いざという時のあなたの行動を支えるものは何かを考えてみよう。

2年聖書

内村鑑三に見る 共生



1. 内村鑑三さんとは

1861年 高崎藩士・内村宜之の長男として江戸小石川の武士長屋に生まれる

1876年 札幌農学校への入学を決意
新渡戸稲造の影響を受ける。

1878年6月2日アメリカ・メソジスト教会のM.C.ハリスから洗礼を受ける

2. 内村鑑三の信仰

「すなわちキリストの中におのれを失いて、
彼をしてわれに代わってわが自我たらしむる者なり。」

→ キリストがクリスチャンの中で働くことを信じている

「私は2つのJを愛する」

① Jesus ② Japan

内村の墓石に刻まれた言葉

“ I for Japan

Japan for the World

The World for Christ

And All for God ”

→ キリストを愛し、神を愛することは日本を愛すること = 愛国者

3. 「不敬事件」

教育勅語において明治天皇の親筆の署名に対して、「奉拝」することが求められた。

内村は最敬礼をせずに降壇。

このことが同僚・生徒などによって非難され社会問題化する

4. 以下のことについて考えてみよう。

① 内村鑑三の行動から考える、愛国心について考えたことを書いてください。

② 内村さんの愛国心から学び、グローバルな社会で日本人として生きるときに大切なことは何か考えて書いてください。

③ 内村さんの行動を支えていたものがキリストへの信仰だとするならば、いざという時のあなたの行動を支えるものは何かを考えてみよう。

3 年聖書

Martin Luther

King Jr 牧師に見る

平和・共生



1. キング牧師の生涯

1929 年 1/15

ジョージア州アトランタ生まれ。

1955 年 12 月から 1968 年 4 月 13 年間にわたって現代アメリカの人権、公民権運動のリーダーシップを取る。

1963 年 「ワシントン大行進」 人々の自由と仕事を求める集会。肌の色、人種、政治的立場を超えて 25 万人が集まる。“I Have a Dream”スピーチは、このとき。

1964 年 ノーベル平和賞受賞。

1964 年 社会の中での人種、肌の色、宗教、聖別、国籍による差別、就労時の制限を禁止する公民権法は、ケネディ大統領から議会に提出されて依頼反対されてきたがジョンソン次大統領政権下に議会で可決。

1968 年 4/4 テネシー州メンフィスにて暗殺される。

2. キング牧師の生き方

若い日に、マハトマ・ガンジーの非暴力を貫く生き方に心動かされ、主イエス・キリストに従う歩みを通してこそ共に生きる社会が実現されると信じた。非暴力という生き方を通して社会の一人一人に語り続け、非暴力の歩みこそが対立する人々の間に和解をもたらすと信じた。自宅を爆破されても、脅迫を受けても、最後まで、人が人を傷つけることのないように警備員に銃を携帯させなかった。“I Have a Dream”のスピーチ、ノーベル章受賞時の講義、「バーミンハム刑務所からの手紙」などを通して多くの人々の心にその言葉が残されている。

3. キング牧師の言葉

「非暴力の歩みは、暴力を用いないことだけでなく、その相手を愛することである。」

“The fellowship of reconciliation,” Richard Deats

「わたしには夢がある。ジョージアのこの地で、元奴隷所有者の子供たちと、元奴隷の子供たちが、いつの日か兄弟として共に食卓を囲むその日を。」

「わたしには夢がある。わたしの 4 人の子供たちが、いつの日か肌の色で差別されるのではなく、その人自身の個性（賜物）によって認められる国に暮らすことを。」

“I Have a Dream”スピーチ

4. 以下のことを考えてみよう。

①キング牧師の生き方からあなたが学んだことは何ですか。

②キング牧師の生き方から考えた、あなたにとっての平和、共生への具体的な関わりを書いて下さい。

③キング牧師の生き方は、主イエスに従って歩もうとする信仰でした。あなたの平和・共生への歩みを支えていくのは为什么呢。

Blank lined paper for writing.

学年テーマⅡ

HR.

No.

氏名

[illegible]

Blank lined paper for writing.

Blank lined paper for writing.

平和講演会

HR.

No.

氏名

日時： 年 月 日

場所：_____

講演者

《内容》

《感想》

[illegible]

長崎原爆資料館を見学して、最も印象に残った展示について内容をメモし感想をまとめなさい。

《メモ》

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.



HR

No.

Name

ELEMENT I Lesson10 Playing the Enemy



Watch the film “Invictus” and write about the following (in the instructed language).

What do you think of the film? Write your response, considering the idea of coexistence.

Fill this page.

(この映画についてどう思いますか。「共生」という概念を踏まえて感想を書きなさい。
なお、この紙面をすべて埋めること。)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



HR

No.

Name

ELEMENT II Lesson 4 Life in a Jar



Write about the life of Irena Sendler in the instructed language.

1. Why do you think Irena risked her own life to save the Jewish children? (Fill the space below)

.....

.....

.....

.....

.....

2. How do you think actions like hers lead to world peace? (Fill the space below)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

〈国語科〉 遠藤周作と長崎

遠藤周作とキリスト教

遠藤周作は、大正 12 (1923) 年、東京に生まれた。幼少期を満州 (中国北東部) で過ごした後、両親の離婚に伴い母に連れられて帰国。神戸の教会に通うようになった周作は、12 歳の時受洗する。しかしこれは自らの積極的な意志によるものではなく、以後彼は人生を通じて「キリスト教とは何か」という問いを抱き続けることとなった。

私は少年時代、幸か不幸か、キリスト教の洗礼を受けさせられた。受けさせられたという受け身の言葉をつかったのは、それが私の自発的意志でなされた行為ではないからである。母親が、姉のすすめにより教会に通い、洗礼を受けたあと、私と兄とにキリスト教の勉強をするように命じたのである。(中略) 私は母親が買ってきてくれた洋服を、そのまま着せられたということにもなろう。

(「異邦人の苦悩」)

慶応大学仏文科に進学した周作は、大学卒業後の昭和 25 年、フランスの現代カトリック文学を学ぶため、27 歳で留学 (この時知り合った井上洋治神父とは、生涯の盟友となった)。

しかし敗戦国である日本の留学生は寄港地ではほとんど上陸を許されず、リヨンでの留学中も西洋人との価値観の違いに戸惑い続けるうちに、彼はひとつの作家的テーマにたどりつく。

そのテーマとは、私にとって距離感のあるキリスト教を、どうしたら身近なものにできるかということであり、いいかえれば、それは母親が私に着せてくれた洋服を、もう一度、私の手によって仕立てなおし、日本人である私の体にあった和服に変える、というテーマであった。(「異邦人の苦悩」)

約 2 年半のフランス滞在後帰国した周作は、昭和 30 年、「白い人」で芥川賞を受賞。以後、問題作「海と毒薬」やユーモア小説「おバカさん」など多彩な作品を執筆、昭和 41 年には彼の作家人生前半の集大成ともいべき「沈黙」を発表する。

その後も“狐狸庵先生”として書かれた軽妙なエッセイで親しまれる一方、「死海のほとり」「イエスの生涯」(昭和 48 年)、「侍」(昭和 55 年)、「深い河」(平成 5 年)などのキリスト教文学を発表、平成 8 年、73 歳で亡くなるまで信仰に向き合い続けた。



遠藤周作



『沈黙』(新潮社)

「沈黙」と長崎

昭和 41（1964）年、書き下ろし長編小説として刊行された『沈黙』は、16 世紀末のキリシタン弾圧に材を取っている。

イエズス会の宣教師ロドリゴは、困難が待ち受けていると知りながらも来日、潜伏布教を試みる。しかしようやく得た信者が「水磔」によるむごい死を受ける姿などを目にしているうちに、彼はあまりに悲惨な状況をただ沈黙して見ているだけの神に疑問を感じるようになる。

さすらいの中で結局捕らわれてしまったロドリゴは、信者の命と引き替えに踏絵を踏むことを迫られるが、そこで初めて彼はキリストの声を聞く。

「踏むがいい。私はお前たちに踏まれるため、この世に生まれ、お前たちの痛さを分かつため十字架を背負ったのだ」（「沈黙」）

周作はこのキリストを、ヨーロッパで信仰されている恐るべき「父なる神」でなく、「ちょうど母親ができたわい子どもに対してでもそうあるように、神が人間と一緒に苦しむような（「異邦人の苦悩」）」存在として描く。それは前述した「母親が私に着せてくれた洋服を、もう一度、私の手によって仕立てなおし、日本人である私の体にあつた和服に変える」というテーマへの、ひとつの答えでもあつた。

皆さんが修学旅行で訪れる長崎は、被爆という人類史上類を見ない悲劇に見舞われた地であると同時に、江戸時代唯一の西洋との窓口として発展したエキゾチックな街であり、またキリシタン弾圧や島原の乱などの受難を経験するなど、数奇な運命をたどった街でもある。

市内には東出津町にある「遠藤周作文学館」をはじめ、出津文化村内『沈黙』の碑、市街地の「日本二十六聖人記念館」や「大浦天主堂」など、遠藤周作の文学とキリスト教にまつわるさまざまな史跡がある。機会があればぜひ訪れて、その歴史を体感してもらいたい。



遠藤周作文学館

アウシュヴィッツへの思い

遠藤周作は徴兵検査に不適合だったため、兵士として第二次世界大戦には参加していない。しかし軍需工場に徴用される形で、青年期に戦争の苦しみを経験した。その中で彼の関心を引き付けたのは「基督教が戦争にどう向き合ったか」ということであった。

1年生「国語総合」の教科書には、作者を思わせる「私」と戦時中アウシュヴィッツ強制収容所にいた現地の作家の交流を描いた「カプリンスキー氏」が掲載されている。平和を考える教材として全クラス共通で扱った单元なので、思い出してほしい。ここでは「私」がアウシュヴィッツを訪ねる理由が次のように記されている。

アウシュヴィッツに行くのは昔から希望していたことだった。人間がどこまで堕ちるかと言うことより、そこで人間だったある神父の死が私を前から感動させていた。日本の長崎にも布教に来たその神父は一時帰国の折、この収容所に入れられたが、死刑を宣告された囚人を救うため、自らが身代わりになることを進んで申し出て、飢餓室のなかで息絶えたのである。（「カプリンスキー氏」）

この「ある神父」とは、ポーランドのカトリック司祭、マキシミリアノ＝コルベ神父である。彼はいったいどのような人物だったのか。

遠藤周作『女の一生』では、コルベ神父について詳しく描かれている。彼は、愛を信じれば自分が殺される、という地獄のような場所で、脱走者の代わりに死刑を告げられ泣き崩れる男の代わりに飢餓室送りになることを申し出る。彼を突き動かしたのは、「ここに愛がないのなら我々が愛を作らねば」という信念であった。

毎日大量の人が処刑されるという絶望的な状況の中、辛抱強く愛を説くコルベ神父に対し他の囚人たちは冷ややかな目を向けていたが、身をなげうって自らの言葉を実践したコルベ神父の姿に大きく心を動かされる。コルベ神父が亡くなった日の夕方、強制労働を終えた囚人たちは彼の死を胸に抱きながら「うるんだ硝子玉のような夕陽」を見てこう思うのである。

「ああ……」

と一人の囚人がつぶやいた。

「なんて、この世界は……美しいんだ」

みんな黙っていた。ああ、なんてこの世界は美しいのだろう。昨日まで愛もなく悦びもなかった。ただ恐怖と悲惨と拷問と死しかない世界だった。それが今日、この世界はなんて美しいのだろう。彼らはその世界を変えてくれたものがわかっていた。

愛のない世界に愛を作った者を……。 （「女の一生」）

戦争中に人間が人間に何を行ったのかこの機会に知り、考えて欲しい。2年生の日本史A（現代史）では、「人類の負の遺産」とも呼ばれるアウシュヴィッツ強制収容所について詳しい学びの機会が得られる。国語の教材を通して感じたことと合わせて、各自が深く学ぶことを期待したい。

氏名

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

二年次 プリント貼付欄

三年次 プリント貼付欄

日本史A（現代史）

テーマ 第二次世界大戦において、ユダヤ人はなぜ大量虐殺されたのか。

ホロコースト… ナチスによるユダヤ人大虐殺のこと。最終解決。（角川世界史辞典より）



アウシュヴィッツ強制収容所

1940年にナチスドイツによって設けられた強制収容所であり、ヨーロッパ各地のナチス占領地から連行されたユダヤ人や捕虜などが過酷な強制労働のうえ、ガス室などで虐殺された。犠牲者は約400万人に及んだといわれる。

史料1

アドルフ・ヒトラー『我が闘争』より抜粋（日本語訳は平野一郎・将積茂に拠る）

ヒトラーの民主主義批判 今日の民主主義的議会の目的は、おそらく賢人の会議を形成することではなく、むしろ精神的に従属しているゼロに等しい群れを寄せ集めることにある。（中略）…そうして、今日の悪い意味での政党政治がなされるのである。しかし、そうしなければ、本来の黒幕が常に個人的に責任を負わされることなしに、いつも注意深く背景に隠れていることができないのである。というのは、国民にとって有害な決定は、それがどんなものでも、誰の目にもはっきり無能だと見える者たちには負わされず、党派全体の肩にかけられるからである。しかし、それと同時に実際の責任はすべてなくなる。なぜなら責任というものは、個々人の義務感の中にあるだけで、議会主義のおしゃべり同盟の中にはないからである。

ユダヤ人について この民主主義という制度は、正直で誠実で個人的な責任をとる覚悟のある男は、これを憎まなくてはならないのに、この上もなくウソつきで、同時に日光を恐れる潜伏者に好まれ、価値があるものだ。それゆえ、この種の民主主義はまた、彼らの内心の良心に従っていまなお未来永劫に太陽を恐れるべき人種の道具である。ただユダヤ人だけがこの制度、彼ら自身のごとく不潔で不正直なこの制度を称賛しうるのである。

ドイツ人について（ゲルマン人、アーリア人も同義） これに対立しているのが行動に対してすべての責任を完全に引き受ける義務を負っている指導者を自由に選ぶ、真のゲルマン的民主主義である。そこには個々の問題に対する多数決はなく、ただ自己の決断に対して能力と生命をかけるただ一人の決定がある。すなわち、（中略）…引き受けるべき責任の大きさによって、無能者や弱者が尻込みする、というところにこそゲルマン的民主主義の意義があるのだ。

国家について 民族主義的国家の最高の目的は文化供給者としてより高い人類の美と品位を作りだす人種の本源的要素の維持を心がけることである。われわれはアーリア人種として、国家のもとにこの民族の維持を保証するだけにとどまらず、その精神的、理念的能力を一層育成することによって最高の自由にまで導く民族の生き生きとした有機体だけを考えることができるのである。

史料2 新約聖書 マタイによる福音書 27章 22～25節

ピラトは言った。「それではメシアといわれるイエスは、どうしたらよいか」

民衆（ユダヤ人）はいっせいに言った。「十字架につけよ」

しかし、ピラトは言った。「あの人が、いったい、どんな悪事をしたというのか」

すると彼らはいっそう激しく叫んで、「十字架につけよ」と言った。

ピラトには手のつけようがなく、かえって暴動になりそうなを見て、群衆の前で手を洗って言った。

「この人の血について、わたしには責任がない。おまえたちが責任を負うのだ」

すると、民衆全体が答えて言った。「その血の責任は、われわれとわれわれの子孫の上にある！」

史料3 ルティ・ジョスコビッツ著 『私のなかの「ユダヤ人」』（三一書房）

イスラエルにいたとき、ターバンを巻いたインド人が畑を耕作しているのを見た。どこから見てもインド人で、インドの言葉、インドの服装、インドの文化を持っていた。しかし彼らがユダヤ教徒だと聞いたとき、私のユダヤ民族の概念は吹っ飛んでしまった。同じように黒人がいた。アルジェリア人がいた。イエメン人がいた。フランス人がいた。ポーランド人がいた。イギリス人がいた。まだ会ってはいないが中国人もいるそうである。どの人々も、人種や民族というより、単なる宗教的同一性としか言いようのない存在だった。

〈中略〉私の母はスラブの顔をしている。父はポーランドの顔としかいいようがない。私もそうなのだ。

私はイスラエルで一つの風刺漫画を見た。白人のユダヤ人がイスラエルに着いたら、そこは純粋なユダヤ人の国だと説明されていたのに、黒人もアラブ人もいたのがっかりした、というものだ。この黒人もアラブ人もユダヤ教徒だったのだ。彼は自分の同胞に有色人種がいたので、こんなはずではないと思ったのである。

1. ヒトラーの「わが闘争」に書かれている民族観を整理しなさい。

2. ヒトラーのこの民族観はどのような観点から批判されるか。史料を基に批判しなさい。

日本史 A（現代史）

原子爆弾開発の歴史

- 1938 ドイツの科学者がウラニウムの核分裂現象を発見
- 1939.8 ドイツからの亡命科学者がアインシュタインを通じて
米ローズヴェルト大統領に原爆開発を促す書簡を提出。
- 1942.9 ドイツ殲滅のための原爆計画「マンハッタン計画」開始。
- 1945.4 ヒトラー自殺。翌月、ドイツ無条件降伏。
- 1945.7 ニューメキシコ州アラモゴード砂漠で原爆実験成功。
- 1945.7 鈴木貫太郎首相、ポツダム宣言を黙殺し、戦争邁進の談話を発表する。
- 1945.8.6 午前8時15分 広島：ウラニウム爆弾「リトルボーイ」
- 1945.8.9 午前11時2分 長崎：プルトニウム爆弾「ファットマン」
※当初は小倉を予定していたが、雲が出ていたため、長崎に切り替える。

マンハッタン計画

アメリカの原子爆弾製造計画の暗号名。
約20億ドルの巨費を投入し、
1945年7月、史上初の原爆実験に成功。



ロバート＝オッペンハイマー（1904～1967）

ユダヤ系アメリカ人原子物理学者。第二次世界大戦当時ロスアラモス国立研究所の所長として原子爆弾開発プロジェクトの指導者的役割を果たし、「原爆の父」として知られる。戦後は原子爆弾の国際管理を訴え、水爆実験への反対運動などを行った。

戦後に行われたマサチューセッツ工科大学での講演での一言

「本質的な意味において、物理学者は罪を知った。
この事実は決して忘れ去られることはないだろう。」

史料1 『ヒロシマ・ナガサキのまえに』（映画 『The Day After Trinity』 の翻訳）

富田倫生 訳 Voyager Japan, Inc

ドイツの科学者が核分裂を発見したことを知っていましたし、他の科学者が分裂の利用に取り組んでいたことも分かっていました。当時はドイツの情報はなく、よく分かりませんでしたが、実際にドイツでは、イギリスやアメリカの計画よりもはるかに速いペースで、たくさんの時間とあらゆる資源を動員して、原子爆弾の開発を試みてい



ました。（中略）我々はドイツよりも早く原子爆弾を開発しなければならなかったんです。なぜならば、もしドイツが先に原子爆弾を手に入れば、我々は競争に負けただけでなく、それ以上に悲惨なことになっていたはずですから。

ハンス・ベーテ（物理学者・ノーベル物理学賞受賞）

広島ニュースを聞いたときは、最初「失敗でなくてよかった」という気持ちになりました。けれど、その放送が終わらないうちに突然大勢の人が殺されたという恐怖が湧き上がってきました。なぜなのかは分かりませんが、それまでは爆弾で死ぬ人たちのことを考えたことはありませんでした。本州のどこかに落とせば、軍部が思い知るだろうといったことを考えましたが、あくまで人がいないところを想定していたんです。

戦争中、私たちは既存のものより 1000 倍も強力な装置をつくれれば、戦争に対する国の姿勢に影響力を及ぼすことができると考えました。だからこそ、兄は戦後、この問題に深く関わったんです。「ここから新しくはじめよう。この兵器は戦争に使うことはできない。これで物事が変えられる。」と言えたんです。けれど実際は違いました。そうはなりませんでした。誰もが原子爆弾をもう一つの兵器としてしか考えませんでした。安全保障の一部なのだと。

フランク・オッペンハイマー（ロバート・オッペンハイマーの実弟）



1. マンハッタン計画に参加した科学者たちの「挫折」とは何か。

長崎の原子爆弾被害

投下目標都市の選定

- 条件：（１）日本人の徹底抗戦の意志をくじくことができる場所
（２）多分に軍事的性格を持ち（重要司令部、軍事駐屯地、軍事物資補給生産地）、あまり空襲の被害をうけていない場所
（３）原子爆弾の威力を正確に判定できるだけの広さのある場所

候補：小倉、広島、新潟、京都

兵器生産都市としての長崎

明治維新後、日本の近代化とともに、長崎は重工業の中心地のひとつとなった。そのなかでも、長崎の西岸から浦上盆地に至るまでは日本の一大軍需工業地帯であった。

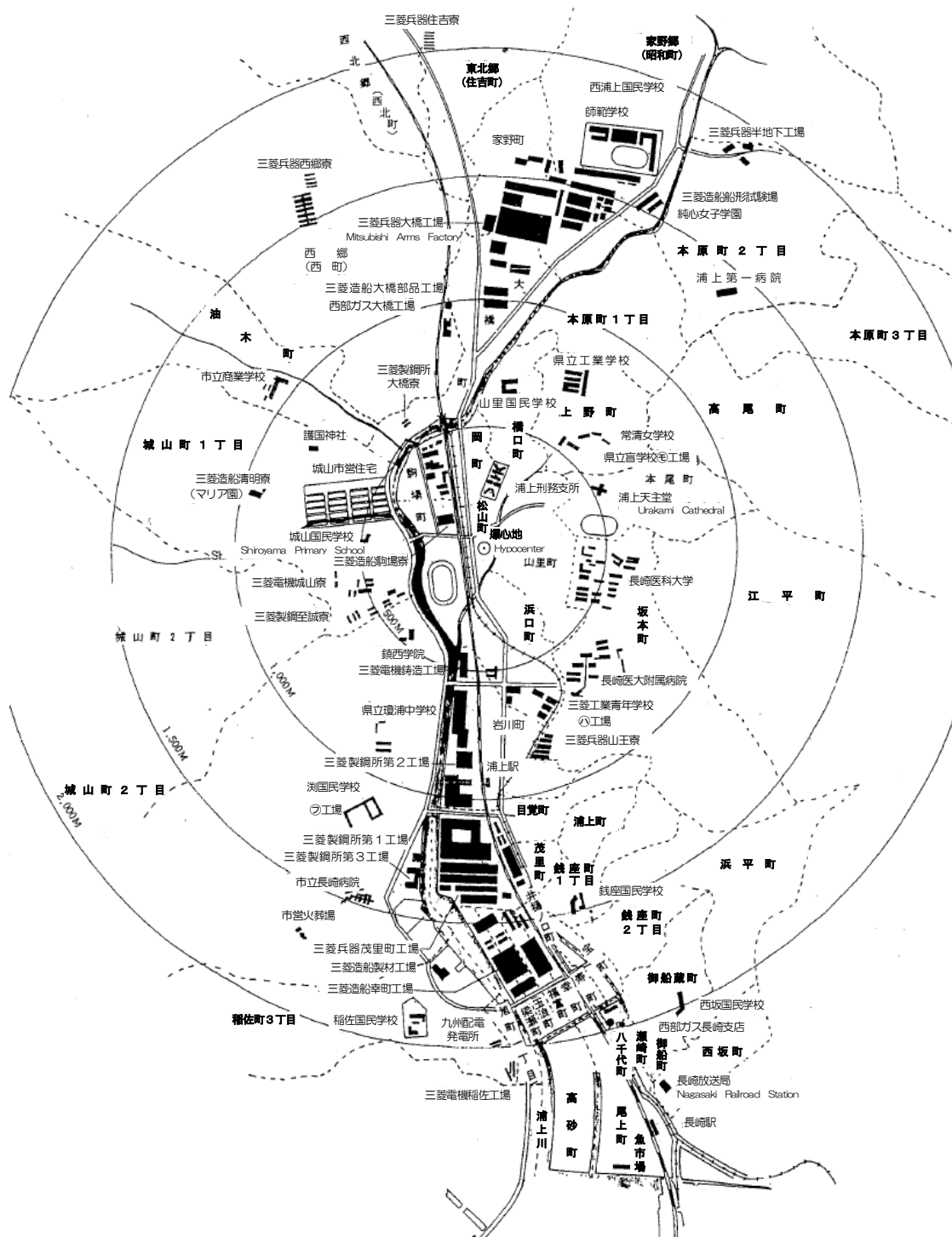
グラバー園の正面に見える三菱重工長崎造船所は、国内重工業の原点といわれ、長崎は「三菱発祥の地」とも言われる。ここでは、客船や商業船だけでなく、戦前は戦艦も建造され、連合艦隊の旗艦となった戦艦武蔵もここで建造されている。現在の長崎大学には、かつて魚雷製造工場があり、真珠湾攻撃にも使われた九一式航空機用魚雷などが作られていた。

ワーク

右の被災地復元区域図の中にある、軍需工業施設に

マーカーなどで色を塗ってみましょう。

原爆被災地復元区域図



『原爆被災復元調査事業報告書』より

永野 若松 長崎県知事の証言

…皆を知事室に集め、「それでは」と言いかけたところに、佐世保市長の小浦君が来て、室に入れたら、「広島はエライことになりましたね」という。「今、ちょうど、そのための会議を始めようとしたところだ」と言った途端に、電灯が消えた。壕の外に出て見た。遙か向こうの浦上方面一面が、真黒な煙に包まれ、赤い火の手はまだ見えなかったが、濛々として大火事となっており、ずっと高いところまで雲のような煙が立ちこめていたのである。しかし、眼下の旧市内にはまだ何事も起こっていない。

室に帰ると、すでにドンドン警察の報告がきていた。ピカッと光って大きな爆音が聞こえ、広島の新爆弾らしいものが落ちたが、管内の被害は軽微、人畜に死傷はなく、全壊家屋もない。硝子窓はみな割れ、半壊家屋は若干あったが、概ね小破損の程度だという。しかし、よく考えて見ると、それはその筈であった。警察電話が通じ、すぐ報告できるような警察署からの第一報が、被害軽微、人畜に死傷なしとしてくるのは、もとより当然のことであった。

しかし、ある程度のことは、爆発直後すぐに、つぎつぎと判っていった。

長崎県警察史 下巻

これは1945年(昭和20年)8月9日の原爆投下時、この防空本部にいた県知事の証言です。ここは爆心地から約2.7キロメートル離れているため、爆心地の状況がすぐには把握できず、初めは被害軽微としていましたが、その後、浦上地区一帯(爆心地周辺)の詳細な情報が入ってくるにつれて、甚大な被害状況を国の防空総本部長官などへ送りました。

長崎市 平和・原爆のページ

<http://www.city.nagasaki.lg.jp/peace/>

長崎の被害状況

被災者 : 死者 約 74,000 人、重傷者 約 75,000 人

被災戸数 : 全焼 約 12,000 戸、全壊 約 1,300 戸、半壊 約 5,509 戸

(長崎市原爆資料保存委員会推定)

長崎市内の戦争関連遺跡



長崎市立 城山小学校

爆心地に最も近い国民学校であり、
極めて大きな被害を受けた。
1984年の校舎改築時に一部が遺構として



被爆鳥居

山王神社の参道にある二の鳥居。爆風で笠石が
ねじ曲げられ、爆心側の左半分が吹き飛ばされ
た。この神社では、この一本柱鳥居の奥に被爆



被爆マリア像

長崎市にある旧浦上教会は、原爆投下時に
本堂が倒壊したが、焼け跡の中からマリア像
の首から上が残っているのが発見された。



長崎県防空本部（立山防空壕跡）

長崎県防空本部は戦争中の指揮・連絡を
行っていた場所であり、原子爆弾の投下
時にはこの場所から原爆被害情報を国

平和憲法

日本国憲法前文 平和的生存権

「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有する」

日本国憲法 第9条

- ① 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
- ② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

憲法第9条に関する政府見解の変遷

1946年 6月 戦争放棄に関する本案の規定は、直接には自衛権を拒否して居りませぬが、第9条第2項において一切の軍備と国の交戦権を認めない結果、自衛権の発動としての戦争も、又交戦権も放棄したものであります。(吉田首相)

1957年 5月 いかなる場合においても、すべての核兵器を第9条が禁止している戦力であるという解釈はいきすぎである。(岸首相)

1972年 11月 憲法第9条第2項が保持を禁じている戦力とは、自衛のための最小限度をこえる実力組織というのであって、それ以下の実力の保持は、同条項によって禁じられてはいない。(政府統一見解)

1981年 5月 わが国が、国際法上、・・・・・集団的自衛権を有していることは、主権国家である以上、当然であるが、憲法第9条の下において許容されている自衛権の行使は、わが国を防衛するため必要最小限度の範囲にとどまるべきものであると解しており、集団的自衛権を行使することは、その範囲を超えるものであって、憲法上許されないと考えている。(政府統一見解)

2014年 7月 わが国による「武力の行使」が国際法を順守して行われることは当然であるが、国際法上の根拠と憲法解釈は区別して理解する必要がある。憲法上許容される上記の「武力の行使」は、国際法上は、集団的自衛権が根拠となる場合がある。この「武力の行使」には、他国に対する武力攻撃が発生した場合を契機とするものが含まれるが、憲法上は、あくまでもわが国の存立を全うし、国民を守るため、すなわち、わが国を防衛するためのやむを得ない自衛の措置として初めて許容されるものである。(閣議決定)

解釈改憲

憲法の条文そのものは改正せず、社会の実態に憲法を適合させるとして条文の意味内容や運用を解釈によって事実上変更すること。

非核三原則

核兵器を「もたず、つくらず、もちこませず」

1967 年 12 月に佐藤栄作内閣総理大臣が表明し、1971 年 11 月の衆議院本会議で決議され、国是として確立した。

現行の国内法・国際法上、日本において核兵器を「もつこと」、「つくること」は全面的に禁止されている。

一方、「もちこませず」については、1950 年代半ばから、アメリカ軍による核兵器の持ち込み疑惑が浮上するたびに、日本政府は、アメリカが核を持ち込む場合（寄港・領海通過を含む）には「事前協議」を行うこととなっており、「事前協議」がない以上、核の持ち込みはないとの答弁を繰り返してきた。

2010 年、外務省の有識者委員会は次のような報告を発表した。1960 年代に、ライシャワー駐日米国大使が、佐藤栄作首相らに、アメリカの核搭載艦船が日本に寄港する場合は、事前協議の対象外とすることを伝えたが、日本はアメリカの解釈を変更するよう求めず黙認し、アメリカ側も合意を特に求めず、「暗黙の合意（広義の密約）」が作られた。

これにより、非核三原則の形骸化が明らかとなった。

核の傘

核兵器保有国の核戦力を背景に自国の軍事的安全保障をはかること。

「戦争は一人、せいぜい少数の人間がボタン一つ押すことで一瞬にして起せる。平和は無数の人間の辛抱強い努力なしには建設できない。このことにこそ、平和の道徳的優越性がある」

丸山眞男（1914～1996）

*核兵器を、なぜ、なくせないのか。

*

生物基礎 放射線は遺伝子や染色体にどのような影響を与えるのか？

『被曝治療83日間の記録』(2001.5 NHK 放映)を見て内容をまとめましょう。

- ・1999 年 9 月 30 日 茨城県東海村核燃料加工施設で_____事故が起きた。
- ・作業をしていた JCO 職員 3 人が大量の _____ 線被曝を受け、2 人が亡くなった。日本での原子力事故での初の犠牲者だった。
- ・大内さんは、実に一般人の年間許容量の _____ 倍の放射線を一瞬に受けた。
- ・放射線被曝のすさまじさに圧倒された・・・

事故当日 大内さんが放医研に運び込まれた際、扱う人たちはみな _____ 服・ _____ マスクをつけていた。

- ・東大へ移った時、 _____ 量の放射線をあびたはずだが、大内さんは元気な姿だった。
- ・ただ、1 日で一気に _____ したように、赤くなっていた。手も赤く腫れていた。
- ・大内さんは、会社のマニュアルにしたがって _____ を濃縮する作業をしてただけで、の可能性も知らされていなかった。
- ・バケツで 7 杯目の燃料の含まれた溶液を容器へ入れた時、核分裂の _____ する臨界が起きた。
- ・放射線が _____ (人体の設計図)を直撃して破壊→新しい _____ は作られない。
- ・まず、体を守る _____ が急激に減少し、被曝 6 日目に無菌室へ。

7 日目 _____ は健康な人の 1/10 になった

- ・白血球を作る細胞を移植したときは話せる状態だった。
- ・外の見た目に表れてきた症状もある。医療用テープの跡が消えなくなった。→ _____ の新しい細胞ができなくなったから。
- ・ _____ には水がたまり、呼吸が困難に。

11 日目 人工呼吸器をつけることになった。言葉はしゃべれなくなる。

18 日目 被曝医療で初の _____ 移植成功。白血球は健康時と同じになった。

- ・しかし、根付いた血液の細胞、 _____ に傷→体内の物質が _____ を受けて変化し、を出す物質になったためか。

27 日目 内視鏡で見ると、消化管の粘膜はがれ、下痢が 1 日に 3 回にも。

- ・ _____ で出血。輸血をする。
- ・高い線量の放射線被曝治療に科学的根拠はない。
- ・良いだろうという事をすべて用いる。
- ・傾けられたベッドは皮膚に負担を与えないように。

・皮膚から_____や水分が出ていく。体のほとんどをガーゼで覆う。目からも出血。

・浴びた線量が多い所から全身へ症状が広がった。

・皮膚、腸から1日_____リットルの水分が失われる。

・皮膚移植をする。最新治療の培養皮膚。しかし着くことはなかった。

・_____は破壊され、細胞が次々と失われていった。

・治療方針会議 言葉少なくなる。成果も見えない。誰も言い出せない。

「ここにいる人は何なんだろう」「体があって、機械がついている」

体を維持するための処置。何のためにやっているのか。

・心拍数は120以上。_____をしているのと同じ。

59日目心停止→心臓マッサージ、強心剤

・_____や腎臓に影響。病状は急速に悪化。

・家族の呼びかけにも応えなくなる。

・でも、家族が希望を捨てなかったことが医師を支えた。

65日目血液の中で免疫細胞が異常になり、正常な_____を攻撃。再び白球急減。

・「打つ手がない」 _____日間の闘いだった。

・「人間の体を_____から壊していく放射線_____内部から隅々まで及んでいった。

・_____は最も放射線の影響を受けにくい、失われていた。

・ただ_____の筋肉だけがきれいに残っていた。

・医師「人間のつくったものは一歩間違うととんでもないことになる。医師でも最新の_____や
_____でもなんともしようがない……。」

・妻「_____に関わらなければならない環境にある限り、また、同じような事故は起こるのではない
でしょうか。……」

【参考図書】元高等部 理科(物理)教諭 小林 公吉先生 著(挿し絵…大浦先生(理科))

『青い光は警告する——東海村臨界事故とわたしたち』資料情報室 監修

感想: _____

原子力と放射線

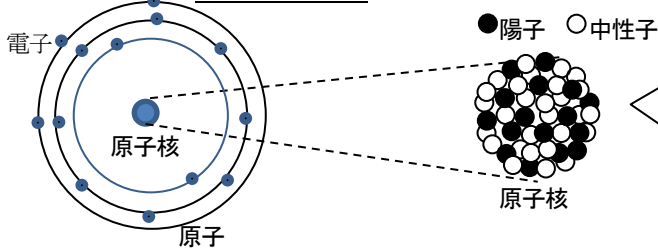
HR

No.

氏名

原爆(原子力発電)のエネルギーはどこから出る？

原子の中心にある「原子核」から出てくる



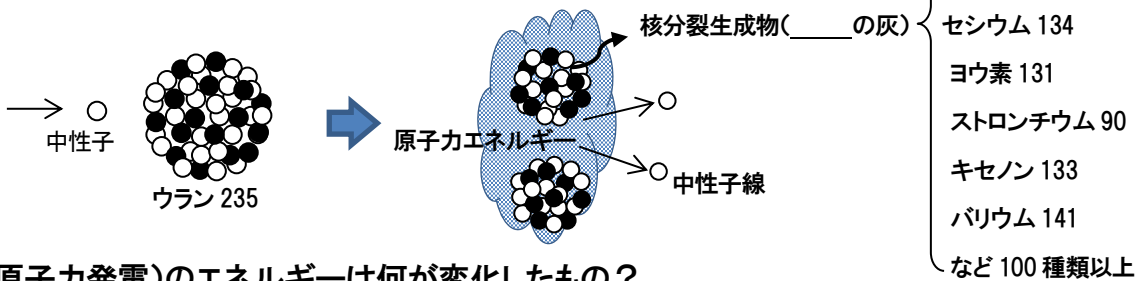
ウラン 235 の場合

●が 92 個 ○が 143 個
全部で 235 個で出来ている

原爆(原子力発電)のエネルギーはどのような過程で生じる？

ウラン 235 やプルトニウム 239 の原子核に 中性子 が当たると「核分裂」が起きエネルギーが生じる。

その時、別の 中性子 が2～3個飛び出す。この中性子は放射線の1つ 中性子線 である。

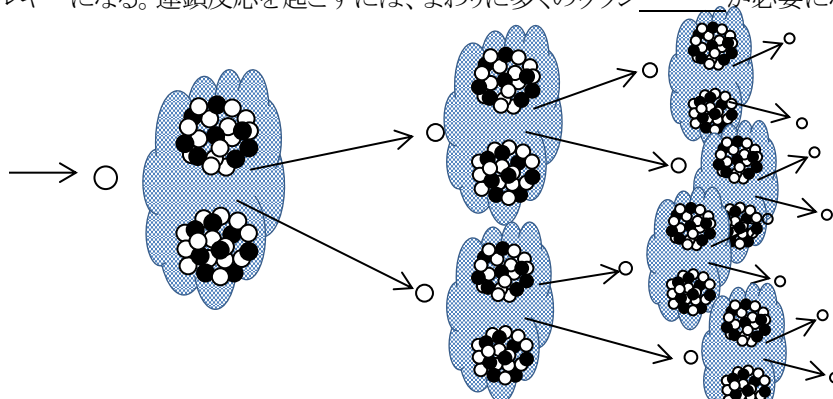


原爆(原子力発電)のエネルギーは何が変化したもの？

核分裂をするとちよつとだけ(約 1/1000) 質量 が減る。その減った分がエネルギーに変わる。アインシュタインが相対性理論で予言したことだ。式で表すと $E = m \cdot c^2$ (m は減った質量、 c は光の速さ)になる。

原子核の変化で生じるエネルギー(含 放射線)は普通の爆弾(化学反応)の 100 万倍にもなる。

核分裂で出た中性子は次の核分裂を引き起こす。これを 連鎖反応 という。連鎖反応によってすさまじいエネルギーになる。連鎖反応を起こすには、まわりに多くのウラン 235 が必要になる。



連鎖反応を起こすためにはどれだけのウラン 235 が必要か？

核分裂をするウラン 235 は天然ウランのうちの 0.7% しかない。だから、鉱石として掘り出したウランのうち 99.3%を占めるウラン 238 を捨ててウラン 235 を 濃縮 する。捨てられたウラン 238 は普通の原発(軽水炉)では使えないので「貧ウラン」と言う。

核分裂で2つに分かれた原子核はどうなる？

核分裂生成物(____の灰)は陽子と中性子の数のバランスが悪く不安定なので、____線、 γ 線を出す。



核分裂生成物が付着したり混ざってしまうことを____という(放射線を浴びることは被ばくと言う)。

核分裂生成物(死の灰)は広島や長崎の町にばらまかれた。福島原発事故でも壊れた原子炉から出てきてしまい大地や海を汚染した。汚染物質が体内に入ると体の中で____を出す。これを____被ばくという。

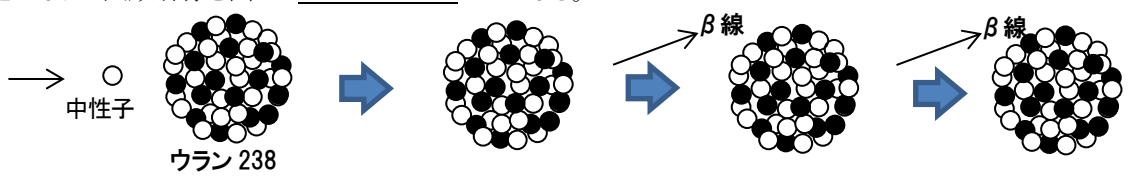
核分裂で出た中性子線はどうなる？

中性子線は____作用が強いので建物の中でも多くの人被ばくした。1999年に起きた東海村____事故でも大量の中性子線を浴びて二人が亡くなった。また中性子は物質に吸収されるとその物質を放射性物質に変える(____化)。広島や長崎の人々は中性子線が引き金となって出てきた放射線も浴びた。



長崎原爆の材料のプルトニウム 239 はどのようにして作る？

プルトニウムは人工的に作り出されたものだ。ウラン____は____が当たると核分裂はしないで、吸収して不安定になり2回放射線を出して____239になる。



プルトニウム 239 はウラン 235 より威力の強い核分裂性物質なので、それを作る目的で最初の原子炉がつくられた。原子力発電の燃料中にはウラン____が大量にあるので、原子炉の中でプルトニウムが出来る。

「核」のゴミである劣化ウランはどうする？

劣化ウランの使い道として____弾が作られた。鉄より重いので貫通力が____く戦車も破壊する。爆発して飛び散ったウランは____作用の強い α 線を出すので、それを吸い込むと深刻な内部被ばくをする。湾岸戦争、旧ユーゴ紛争、イラク戦争で使用され広範囲の地域が汚染し、兵士だけでなく多くの市民が被ばくした。高速増殖炉は劣化ウランを使い、原子炉の中で____を作りながらそれを燃料にするしくみだ。

放射線はなぜ怖いのか？

核分裂で出る放射線(____線)、核分裂生成物(死の灰)から出る放射線(____線、 γ 線)、ウラン 235、ウラン 238、プルトニウム 239 から出る放射線(____線、 γ 線)は分子の結合を担っている____を直接または間接的に引きはがす(電離作用)。そのエネルギーは普通の光の____倍である。特に、細胞の核内の遺伝情報を担っている____が破壊されると、細胞は正常に機能しなくなり、がん細胞ができたりする。

① 原子力発電によって生じるプルトニウムの問題点を論ぜよ

- ② 原子力発電によって生じる放射性廃棄物の問題点を論ぜよ(①と同じ内容にしないこと)

グローバルウィークⅠ 「共生」～Our Neighbors～

隣人。聖書の授業で、日々の礼拝で、なんども繰り返し聞いてきたことばです。

でも、ほんとうに「隣人」だなんて思ったことが、どれだけあるでしょう。
顔を覚えてもらったら隣人？ 手伝ったら隣人？ 感謝されたら隣人？

みんなで確かな痛みを分かち合った、3.11の日があったのに、
徐々に記憶の深い流砂に飲みこまれていく東北で、今日も力強く笑う高校生と、
隣人であり続けようとする有志の高等部生がいます。

3000kmはなれたフィリピンの子どもたちの家を訪ね、心から友だちになりたいと思い、
みんなにも友だちになってほしいと願う、フィリピンプログラムの高等部生たちがいます。

2002年にゼロから立ち上がった、みなさんとほぼ同年の車ティモールという国の隣人になりたくて、
毎週毎週、勉強会を重ねているブルーペコの高等部生たちがいます。

同じ東京に暮らしながら、まるで空気であるかのように
「見えない」路上生活者になってしまった人たちと 隣人になるために、活動するボランティア部や、
高等部の廃棄食材の活用を模索する、青山セカンドチャンスの高等部生たちがいます。

そして、どの生徒たちも、真剣に向き合うほど、「無力さ」という壁の前に立ち尽くしています。
一つひとつの問題はとても難しく、火事にコップで水をかけるような絶望感があります。

それでも、と思います。

ほんの少し、興味をもってくれる人がいたら。

ほんの少し、力を貸してくれる人がいたら。

そっとつながれる手の温かさが、「隣人」の意味をおしえてくれるような気がするのです。

共生とは、隣人とは、誰かの抱えている課題を解決してあげるのではなく、
なにかマジメでイシキが高いひとたちのギロンでもなく、
ただ、そこにいて、同じ空気を吸うような普通のことなのかもしれません。

みなさんと、何か一つでも、分かち合うことができる一週間になりますように。

月	日	曜日	礼拝	お昼休み		放課後	
6月	17	月	青山学院 女子短期大学 副学長 河見 誠先生	高等部生・各生徒団体による Global Showcase	2Fエントランス ホール	みやこ座談会 (FOR会)	西校舎2F 大会議室
	18	火	フィリピン訪問生徒	フィリピンプログラム 報告会	西校舎2F 大会議室	Blue Pecoの コーヒーイベント	西校舎2F 大会議室
	19	水	英語科 ベリー先生	Big Chatroom	西校舎4F 大教室	ASCによる 食べ残しNOゲーム	西校舎2F 大会議室
	20	木	ACEFスタッフ 小田 哲郎さん	ボランティア部 “バングラデシュを知ろう！”	2Fエントランス ホール		
	21	金	ボランティア部 代表生徒	Special Olympicsによる ティーチン	西校舎2F 大会議室		
	22	土	9:30-12:00 Unified Sportsを体験★バレーボールイベント★presented by Special Olympics				

グローバルウィーク中の礼拝や参加したプログラムの記録

以下は先日、ログインしたeポートフォリオを用いた振り返り学習を兼ねます。下記に記載した後、eポートフォリオにも忘れずに清書してください。

グローバルウィークを過ごしたのち、振り返ってみる(200字以上)

1. 日常生活の中で「近隣の人々」「近所にいる人たち」と聞くと、どんな人たちが思い当たりますか。またその人たちとの関係はどのようなものですか。

2. グローバルウィークⅠは、物理的な距離の遠近にとらわれずに「隣人」の意味を再考する1週間でしたが、礼拝のメッセージや各イベントの中でそのことを最も強く感じたのはどのような点でしたか。

3. この1年間の生活の中で、「隣人」感をおぼえたり意識したりした体験または出来事について、具体的に述べてみましょう。